

鶴岡八幡宮 春の正式参拝のご報告

國學院大學若木育成会
神奈川県支部
令和8年2月吉日



立春の候、会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
令和8年2月7日、神奈川県支部では、鶴岡八幡宮での正式参拝を実施いたしました。当日は小雪舞う中、総勢89名のご参加をいただき厚く御礼申し上げます。

鶴岡八幡宮は、源頼朝公が源氏再興の旗を上げ、治承四年（1180年）十月、氏神である八幡大神を勧請して祀った鶴岡宮（現在の由比若宮）の神前に詣でて籤（くじ）をひき、神意を伺って現在の地に奉遷した事を御由緒とされています。

参拝が始まるまでの間、皆様すこし緊張した面持ちで直会殿（なおらいでん）で待機。権禰宜（ごんねぎ）・梨子田雅俊様から本日の流れについてご説明いただいたのち、祈祷所へ移動。正式参拝が始まるまで、控える間にて心静かにその時を待ちます。

いよいよ拝殿に昇殿し正式参拝がはじまります。玉串奉奠、祝詞奏上、そして通常では行われない巫女舞の奉納も行われ、厳かな雰囲気の中無事終了。参拝後の集合写真も、御厚意により大石段を使用して撮影させていただきました。

直会殿へ戻りお待ちかねの昼食会が始まります。ここで驚きの出来事が！

なんと最高責任者である宮司・吉田茂穂様からの御高話を賜る運びとなりました。鎌倉の地に鶴岡八幡宮が祀られた起源、武家政治が始まった頃から現代まで、時代の移り変わりはあれど、今なお人々をひきつける鎌倉の魅力について、とても分かりやすくお話しくださいました。

巫女舞奉納、大石段での集合写真、宮司様のご挨拶など、日常ではなかなか得難い貴重な体験が続きました。さらに、会員の皆様との温かな交流を通じて、國學院大學の歴史や、諸先輩方が築き上げてこられた日本の神様とのつながりを、より深く感じる一日となりました。

若木育成会神奈川県支部では、今後もさまざまな支部行事を企画しております。どうぞお気軽にご参加ください。

